

# 千葉市生涯学習関連機関・事業所調査

(N=355)

事業形態 (1つ〇印)	1. 株式会社・有限会社 22.0%	2. 財団法人・社団法人、NPO法人 2.8%	3. 大学 3.7%
	4. 学校 13.8%	5. 個人 53.2%	無回答 4.5%
住 所 (1つ〇印)	1. 中央区 25.1%	2. 花見川区 19.4%	3. 稲毛区 16.9%
	4. 若葉区 12.4%	5. 緑区 13.2%	6. 美浜区 9.6%
		無回答 3.4%	

問1 貴機関・事業所における定期的事業と不定期事業の①実施回数、②在籍者数・延べ参加者数、③受講料（教材費を除く、消費税込みの1回あたり平均額）、④主な参加者層を数字でご記入ください。(N=355)

## 【定期的事業】

事業分野	a 芸 術 芸 能	b 趣 味 娛 楽	c 教 養 知 識	d 技 術 技 能	e スポーツ レクリエーション	f 合 計
①月間実施回数	11.2回	10.9回	20.1回	33.8回	19.1回	22.4回
②在籍者数	75.7人	57.7人	79.4人	245.8人	314.6人	142.1人
③受講料(1回あたり)	2,209円	2,214円	3,823円	5,638円	2,134円	3,871円
④主な参加者層						

## 【不定期事業】

事業分野	a 芸 術 芸 能	b 趣 味 娛 楽	c 教 養 知 識	d 技 術 技 能	e スポーツ レクリエーション	f 合 計
①年間実施回数	6.0回	13.9回	18.4回	13.1回	23.3回	19.6回
②延べ参加者数	215.3人	608.8人	521.3人	234.1人	10,461.7人	3,181.0人
③受講料(1回あたり)	12,229円	3,570円	2,088円	2,700円	1,372円	4,880円
④主な参加者層						

※ 主な参加者層を2つまで選んで、上の枠内にそれぞれ番号をご記入ください。

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 15歳未満男性  | 5. 20～34歳男性 | 9. 60歳以上男性  |
| 2. 15歳未満女性  | 6. 20～34歳女性 | 10. 60歳以上女性 |
| 3. 15～19歳男性 | 7. 35～59歳男性 |             |
| 4. 15～19歳女性 | 8. 35～59歳女性 |             |

問2 主な参加者のうち、在住・在勤の割合はおおむねどのくらいですか。それぞれ整数でご記入ください。(N=355)

a 千葉市に住んでいる人	b 千葉市に勤めている人
87.0%	30.8%

問3 貴機関・事業所の生涯学習事業の講師は、何人いますか。また、そのうち指導している分野の資格（国・自治体・外国・民間）を持っている講師は何人いますか。それぞれ数字でご記入ください。(N=355)

a 総数	b 資格所持者
6.7人	3.8人

問4 貴機関・事業所では、依頼があれば市の生涯学習事業に講師を派遣することができますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。(N=355)

1. できる	37.7%	2. できない	53.8%	無回答	8.5%
--------	-------	---------	-------	-----	------

付問(問4-2) 問4で「1. できる」と回答した方におたずねします。講師を派遣する際に、市にとくに配慮してほしい条件はつぎのうちどれにあたりますか。あてはまる番号に2つまで〇印をつけてください。(N=134)

1. 講師料	36.6%	5. 受講者のレベル	3.7%
2. 曜日や時間帯	68.7%	6. 市の協力体制	18.7%
3. 場所	28.4%	7. その他〔具体的に： 〕	5.2%
4. 受講者の定員	9.0%	無回答	5.2%

問5 貴機関・事業所では、事業実施にあたりどのような問題点がありますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。(N=355)

1. 運営実務のできる人材が不足している	14.4%	6. 事業運営費が不足している	17.7%
2. 受講者のニーズがつかみにくい	9.6%	7. 広報・PR活動が十分ではない	29.3%
3. 市や他の事業所の事業と競合してしまう	10.7%	8. その他〔具体的に： 〕	3.4%
4. 会場が確保しにくい	6.2%	9. とくにない	27.6%
5. インターネットなど、ITを活用した事業の展開が困難である	4.2%	無回答	18.0%

問6 貴機関・事業所では、青少年向けにどのような事業を実施していますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。(N=355)

1. 趣味・けいこ事(音楽、美術、華道、ダンス、園芸、伝統芸能など)	25.1%
2. 学術・教養(習字、そろばん、語学など)	42.0%
3. 社会問題(社会・時事問題、国際問題、環境問題など)	3.7%
4. 健康づくり・スポーツ(サッカー、野球、水泳、武道など)	14.6%
5. 健康に関すること(食育など)	2.8%
6. 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	3.7%
7. 教育(青少年教育、教育活動など)	16.9%
8. 職業上必要な知識・技能・資格取得	8.2%
9. パソコン・インターネットに関すること	5.4%
10. ボランティア活動・地域活動(美化活動、レクリエーションなど)	4.2%
11. 科学に関すること(実験、観察など)	4.2%
12. その他〔具体的に： 〕	3.7%
13. とくにない	10.4%
無回答	11.3%

問7 青少年をめぐる問題の背景には、地域全体の教育力の低下が指摘されています。このことをふまえて、貴機関・事業所では、地域の教育力を向上させるために、どのようなことができると思われますか。つぎのうち、あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。(N=355)

1. 子どもや高齢者など異世代の人たちが利用・交流できる事業を企画・運営する	31.0%
2. 作品を展示したり、成果を発表する機会や場を設ける	22.3%
3. 行政、学校や市民の生涯学習活動に講師を派遣する	23.1%
4. 市民の生涯学習活動に、所有施設を提供する	16.3%
5. 市民の生涯学習活動に、機材・学習資料などを提供する	7.3%
6. 市民の生涯学習活動に資金を援助する	2.0%
7. 行政、NPO、ボランティア、市民などと協働して事業を行う	12.1%
8. 地域行事に参加する	24.5%
9. その他〔具体的に： 〕	5.6%
10. とくにない	19.4%
無回答	12.7%

—ご協力ありがとうございました—